

- (1) 出展社名 (株式会社 UL Japan)
(2) 会場名 (A) 会場
(3) 発表時間帯 (5月18日(金) 14:00~14:30)
(4) タイトル

UL Cheminformatics :

化学物質の有害性評価シミュレーションについて

(5) サマリー

機械学習アルゴリズムを活用し、リードアクロス（類推）と定量的構造活性相関モデル（QSAR）を用いた化学物質評価シミュレーションツールを紹介します。本ソフトウェアは、毒性評価の際の動物実験の削減や、研究開発におけるスクリーニングツールとしての活用が期待されます。迅速かつ低コストで有害性を予測します。

=====

【名 称】化学物質管理ミーディング 2018
~Chemical Substance Management Meeting 2018~
【会 期】2018年5月17日(木)・18日(金)の2日間
【時 間】9:00~17:00
【会 場】パシフィコ横浜 ホールD (横浜市西区みなとみらい1-1-1)
【参加費】事前登録者・案内状持参者：無料(当日参加者：有料1,000円(税込))
【主 催】株式会社化学工業日報社
【後 援】経済産業省、厚生労働省、環境省、神奈川県、横浜市、川崎市、
一般社団法人産業環境管理協会、独立行政法人製品評価技術基盤機構、
中央労働災害防止協会、一般社団法人日本化学工業協会、
一般社団法人日本化学品輸出入協会、一般社団法人日本化学物質安全・情報センター、
公益社団法人日本作業環境測定協会、一般社団法人日本試薬協会 (50音順)